



RI 会長
第2790地区
第5分区
第2790地区

カバナー
カバナー補佐
地区委員

イアン H.S.ライズリー
寺嶋哲生
西川佳璋
渡辺昌俊

分区幹事 関一憲
漆原撰子
山口桂亨

NO. 21 Total 2547 2018.1.12 ● 会長 渡辺ヒロ子 ● 幹事 吉田理愛 ● S A A 代行 関正己 編集 クラブ会報委員会 (委員: 中村吉政・漆原撰子・磯野武)

会長挨拶



皆さま こんにちは。
先週は、賀詞交歓会として夜間例会でしたので、今日は、今年初めての通常例会ということになります。あらためまして、今年もどうぞ宜しくお願いいたします。

また、今月は職業月間と言うことで、地区職業奉仕委員会より山下様をお迎えして、後ほど職業奉仕についてお話を伺います。山下様におかれましては、新年早々のお忙しい中、遠路はるばるお越しいただき、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、アメリカ イリノイ州エバンストンから毎月配信される、Rotary Leaderという情報ツールがございます。今月のRI会長メッセージの中に、ロータリーの多様性の概念について書かれておりました。

将来にわたって強力な団体であり続けるためには、職業分類や、年齢層、性別、そして、多彩な経歴や能力を持つ人間の集まりであることなど、広い意味での多様性が重要であると仰っています。

勝浦ロータリークラブは、職業分類的にも、年齢層においても、会員の多彩な能力と言う点においても、RI会長の目指す『多様性』について、かなり良い形になっているのではないかと思います。

しかし、RI会長が目標とする『男性会員と同数の女性会員』という点については、それどころか、女性会員割合の平均2.1%にも手が届きません。現在はさらにその半分。

漆原さんを応援する為にも、今年は女性会員の増強を目指したいと思っておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

幹事報告

- 財団室ニュース1月号、地区寄附レポート届く。
- 2/24-25地区大会における選挙人選出の依頼あり。
- 2018年決議審議会立法案提出の要請あり。
- スリランカセミナー開催2/11の案内あり。
- 第19回ロータリー国際囲碁大会開催4/22の案内。
- R L I パート2 ⇒ 2/12、パート3 ⇒ 3/26の案内。
- 6/24国際大会 (トロント) 開催時の日本人親善朝食会の案内。
- 職業奉仕月間リソース届く。
- 2019年規定審議会に提案する4案が承認 (郵便投票) され、事務総長に送付した。
- 先週1/5 (金) の賀詞交歓会で時計 (グッチ) の落し物あり。
- 例会終了後、理事会開催。
- 来週の例会会場は、1階レストランとなります。

『職業奉仕月間』～ロータリアンの職業奉仕～実は身近でやっている?～

第2790地区 職業奉仕委員会 副委員長 山下清俊 様 (市川東RC)



地区 職業奉仕副委員長
山下清俊様 (市川東RC)

職業奉仕に付いては、10人10色、いろいろな考え方を持っているロータリアンが多いと言われていますが、私は無理もないかとも感じています。世界のロータリーの中でも国によって、国内でも、更には地区内でもいろいろな議論があるようです。また、ロータリアンとしてクラブに入会した時期によっても大きく変わってきているのではないのでしょうか。30年ほど前にロータリアンになられた皆さまと、20年、10年とロータリー歴の違いによって、この職業奉仕とは・・・といった諸先輩からの伝達が違ってきている面もあるように思います。更に申しますと、ここ数年、この職業奉仕についてクラブ内で話題として上がっているクラブが少ないようにも感じられます。クラブ訪問して、またいろいろなクラブの皆様からの声を耳にしてですが、そのように個々の違いによって職業奉仕への思いも変わりつつあるとも思います。

歴史的には、職業奉仕の考え方はアーサー・フレデリック・シェルドンが提唱し、ロータリーがそのまま取り入れたモットー、「**もっとも良く奉仕する者、もっとも多く報いられる**」で表現されています。では、このシェルドンが提唱した職業奉仕のモットーをもう少し具体的に言うとうどうなるのでしょうか?

私は、私たち自身が日々仕事を進めていく中で、お客様はもちろん、取引先や従業員など自分の事業に関係するすべての皆様に対し、誠実にそして高潔性をもって接することで生まれる信頼関係、これを築くのが「職業奉仕」だと考えております。そして、それが結果的に自分の事業にも反映されてくるということではないでしょうか? つまり、「もっとも良く奉仕する者、もっとも多く報いられる」ということとなります。更に言えば、まずは自分の事業の繁栄を考え、次に自分が属する業界全体の繁栄を考え、更に地域社会全体の繁栄を図る。職業を持つ私たちロータリアンは、このようにして職業を通じて社会に貢献できるということが職業奉仕だと思います。これは、クラブの第2の奉仕部門としての「職業奉仕」というより、ロータリーの目的そのものとして「職業奉仕」ととらえるということになります。

ロータリーの目的は主文が、「**意義ある事業の基盤として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。**」であり、その具体的な内容の第2項に、「**職業上の高い倫理基準を保持し、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする**こと」と記されており、ロータリアンとして職業人として、職業をどう認識し、何をめざすかをきちんと記しております。そして、行動規範でも、「1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。2. 取引のすべてにおいて公正に務め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。等々」記されております。

「職業奉仕は難しい」、よく耳にします。先ほども申し上げましたが、私もいわゆる「職業奉仕」の理解・解釈がロータリアン一人一人、クラブ、地区、国、世界で同じであるとは思えません。しかし、「ロータリーの目的」でも述べている「奉仕の理念を奨励すること、職業上の高い倫理性」については、少なくとも文書上では共通の認識があると理解してよいのではないのでしょうか? つまり、各奉仕部門の職業奉仕ではなく、上位概念としてロータリーの理念そのものという理解で良いのではないのでしょうか? ...皆様はいかがお考えでしょうか? 昨年度になりますが、「ロータリーの友 1月号」で、前橋RCの本田様 (第2840地区PG) が、「職業奉仕」はロータリーの根幹か? と題する論文を寄稿されました。題名にはちょっとびっくりでしたが、結論としては、「クラブの一奉仕部門として「職業奉仕」ととらえるのではなく、ロータリアンとして、職業の高潔性を高めるという理念に向かって活動しよう」ということと私は理解しました。つまり、「世のため、人のために仕事をしよう」ということかと思ひ、納得いたしました。皆様はいかがお考えでしょうか? また、自らの情報・知識・経験が足りないがために、「世のため、人のために」のつもりが、結果的にそうならないこともあるかもしれません。しかし、あきらめてはだめだと思います。もし、そういう結果的に間違った判断をしたのであれば、その原因を探り、立ち戻って今一度「四つのテスト」を試みましょう。そうしたら、間違った判断をしなかったとしたら、今度は同じ失敗はしないと思います。つまり「四つのテスト」を使うための条件が整わないままに使うのではなく、「四つテスト」を使える状態かどうか見極め、使うということが肝要かと思っております。ここで、ロータリーの標語に結び付けます。

すなわち、私たちは、「超我の奉仕 = 世のため、人のためにとする心」で仕事に取り組むことで、その結果、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。」となり、利益を得、仕事に還元させて、更に事業を発展させ、より多く人のために仕事ができるようになるということではないのでしょうか。「そうは言っても...まずは自分、自社」と思っておられる方、いらっしゃいますか? では、昨今の企業のあり方に眼を向けてみましょう。例えば大企業で、関係されている方がおられるかもしれませんが、申し上げにくいのですが、某自動車会社や某金属メーカーの検査不正事件、自社さえよければよいとの考えあるいは自身の保身のためとの思いで、判断・行動をしていたと言えるのではないのでしょうか? その結果、どうなったでしょうか? 「たまたまばれただけ、運が悪かったのだ」とおっしゃる方はこの中にはおられないと思います。また、「相手がある商取引でまず相手のことを考えて交渉したら負けてしまふよ。」とおっしゃる方もおられると思います。でも、相手もやはり儲けが必要です。こちらの利益のみ考えていたのでは、結果交渉は決裂です。つまり、お互い交渉で、歩み寄りが必要です。その中で、相手の利益のことを慮る気持ちがあるかどうかだと思います。そのことは相手にも伝わります。仕方なく妥協したのではなく、相手のことを考慮して妥協したのです。こうしたことは皆様も日常あるのではないのでしょうか? 西洋風に言えば「WIN-WIN」、更に日本風に言えば、「売り手よし、買い手よし、世間よし」でしょうか。これが職業奉仕の姿かと思ひます。職業奉仕をあまりにも崇高なものと考え、たじろいでしまいますが、私はこのように、できるところから一歩一歩でよいのではないかと考えています。高潔性は目指す姿です。ですが、日々努力です...と思っております。100%でなくても良い、出来ることから日々、その積み重ねが大切であると感じています。

第7回理事会

- | | | |
|-------|-------------------------------------|-----|
| 第1号議案 | 1-2月例会プログラムについて | 承認。 |
| 第2号議案 | 新会員候補について (2名) | 承認。 |
| 第3号議案 | 出席規定の免除申請について (13名) | 承認。 |
| 第4号議案 | 地区大会のおける選挙人選出の件
会長・幹事の2名選出。 | 承認。 |
| 第5号議案 | 2018年度決議審議会立法案提出の件
勝浦クラブからは提案なし。 | 承認。 |
| その他 | ・1/28 I Mに、いすみ市太田市長へも招待状出す。 | 承認。 |

委員会報告

- 社会奉仕委員会 (渡辺昌俊委員長)
・希望の風奨学金あり (1月中にお願いします。)
- I M実行委員会 (関正己実行委員長)
・I Mの説明。
- 漆原ガバナーノミニデジグネート
・6月開催の国際大会が、カナダトロントで開催します。
今年度は、RI会長主催の平和会議を実施します。



出席報告

会員数 38名 出席者 29名 MU 3名 欠席者 6名
出席率 84.2 %

次回例会 (1/19)

・勝浦市観光商工課 課長 高橋吉造氏
会場: 東急ハーヴェスト 1階レストラン

例会日: 毎週金曜日
例会場: 東急ハーヴェストクラブ (勝浦市中島590-9 0470-76-0199)

事務局: 夷隅郡御宿町新町91-34 吉田理愛 方
Tel.080-6662-1132 fax0470-68-6945